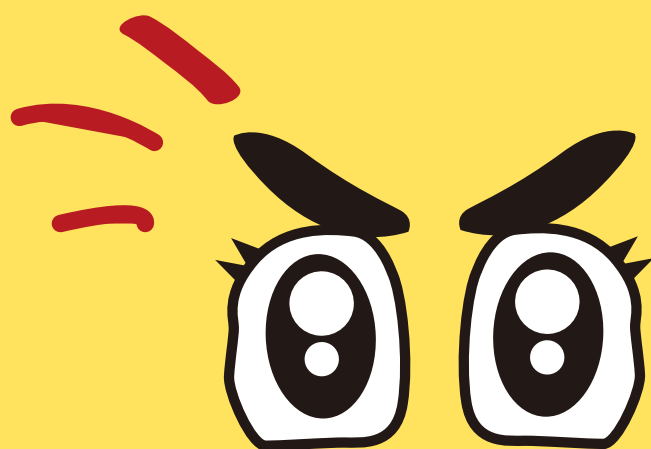


「私は大丈夫」

オレオレ詐欺被害にあった
9割以上の方が
そう思っていました。

被害者の97%は高齢者です。

高齢になるほど「自分は被害にあわない」という意識が高く、被害防止対策を行わない傾向があります。詐欺被害は、まさに高齢者の問題です。



公益財団法人 全国老人クラブ連合会

その電話 詐欺かも? 始めよう!留守番電話作戦



留守番電話は、犯人に直接対応する機会を一旦遮断します。

- 在宅時であっても、常に留守番電話に設定を。
- 相手を確認してから、受話器を取りましょう。
- ・犯人*からの最初の接触方法の9割以上は、家の固定式電話にかかってきています。 *親族になりすましたオレオレ詐欺の場合。
- ・「声がそっくりだったから」などの理由で、被害者の約7割*は、電話を受けた時点でだまされています。 *家族や周囲によって被害を免れた方を含みます。
- ・詐欺に関する知識があっても、身内のトラブル等を装った電話には、冷静さを失い、だまされてしまっています。
- ★「今すぐお金が必要」「資産状況の調査です」など、お金に関わる話題が出たら要注意。お金の保管状況や個人情報の話は、絶対にしないでください。

電話でお金のお話をされたらすぐに相談を!

警察相談窓口は、#9110(緊急時は110)
消費者ホットラインは、188

防犯機能を備えた電話の活用

詐欺や迷惑電話の対策に有効なものとして、電話の着信時に、相手に警告メッセージが流れて、通話内容を録音する機能を備えた電話機または電話機に接続する機器が市販されています。

機器の無償貸与(購入補助)をしている自治体や警察も一部ありますので、お住まいの自治体または警察にお問い合わせください。

*出典:平成30年「オレオレ詐欺被害者等調査の概要」「特殊詐欺認知・検挙状況」(警察庁)
平成29年「特殊詐欺に関する世論調査の概要」(内閣府)



連合会、単位クラブ会長のみなさんへ

みんなで防ごう! 詐欺被害

高齢者をねらった詐欺事件は、大きな社会問題です。老人クラブは、これまでも学習や啓発活動を通じて詐欺被害防止活動に取り組んできました。その成果を活かして、関係機関と連携して、私たち高齢者が主体となった被害防止に取り組みましょう。

単位クラブに見守りサポーターの設置を

活動の推進役となるのは、「見守りサポーター」です。クラブ活動や暮らしの中で、同世代のつながりを通じて詐欺被害防止に取り組む推進役です。役割は、「伝える」「気にかける」「つなげる」ことです。

市区町村老連は、「見守りサポーター」の養成や情報提供など、関係団体と連携した取り組みを推進しましょう。

伝える

活動や日常生活を通じて、被害防止情報を伝える。

誰に: 会員や地域の高齢者、高齢者の周辺の人々に
何を: 関係団体が提供している情報や被害防止に向けた学習会の案内
どのように: 大勢の人に情報が届くように、さまざまな活動を通じて
例えば、月例会、声かけや見守り、サロン活動。スポーツ大会や芸能大会など

ポイント! 情報は繰り返し、根気よく伝えることが大切です。

気にかける

困っているサインや周辺の不審な様子を見逃さないように気にかける。

本人

- 元気がない。表情がかたい
- 気がかりなことがありそう
- 電話におびえている様子
- 外出が増えた など

周辺

- 見慣れない人がよく来ている
- 業者の出入りが多い
- ダンボールが家にたくさん積んである など

ポイント! 気になる人への声かけは「どうされましたか」「お困りのことはありませんか」と、優しく声をかけましょう。

つなげる

関係機関とのつなぎ役となり、被害防止に努める。

詐欺かもしれないと思われるできごとや、会員や地域の高齢者から寄せられた情報は、警察や消費生活センター、地域包括ケアセンター、民生委員などに伝えましょう。

注) 関係機関への連絡において、情報を提供した人のプライバシーは守られます。勘違いだとしても責められることはありません。

ポイント! 連合会では活動や地域のネットワークへの参加を通じて、気軽に相談できる関係機関とのつながりを作りましょう。

公益財団法人 全国老人クラブ連合会

〒100-8917 東京都千代田区霞が関3-3-2新霞が関ビル5階

このチラシは、全国老人クラブ連合会のホームページに掲載しています。



このマークは、老人クラブ高齢消費者被害防止キャンペーンマークです。クラブの方はご自由にお使いください。

全老連

で 検索